

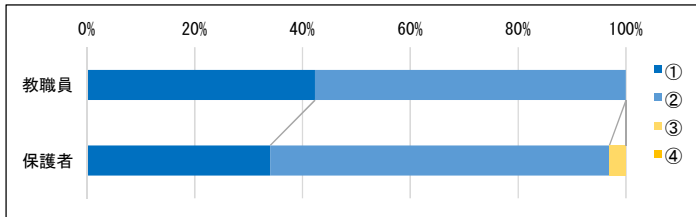
令和元年度 我孫子市立湖北台東小学校 学校評価分析

全体傾向と課題

各項目別の分析（各評価の割合は小数点以下四捨五入で処理をしているため、合計が99%にならないものがありますご了承下さい。）

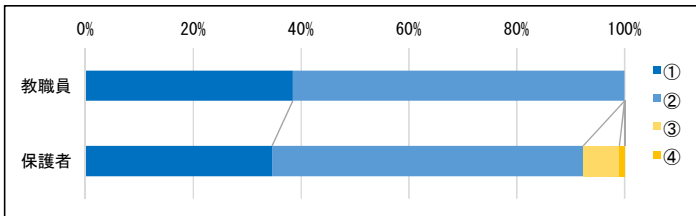
① ② ③ ④
 あてはま 概ねあて あまりあて あてはま
 る はまる ない まらない

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
1	教職員	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.42	3.77	3.74	42%	58%	0%	0%
	保護者	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.31	3.34	3.44	34%	63%	3%	0%



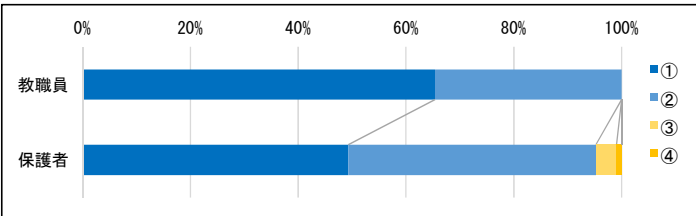
教職員・保護者の平均評価が前年より下がっているのは、「3」をつける人の割合が増加したためである。職員には、年度当初、学校経営の重点について説明してある。また、教職員の意識を高める為に、人事評価の面接を活用している。今後は、千葉県・千葉市教員等育成指標等を活用し、意識の向上に努めたい。保護者の評価の「2」が3%有り、昨年度より低下した。教職員が学校教育目標達成のために全力を注ぎ、保護者の評価が向上していくよう努めていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
2	教職員	学校は、教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.38	3.73	3.71	38%	62%	0%	0%
	保護者	学校は、日頃の教育活動を保護者・地域に知らせている。	3.26	3.34	3.42	35%	58%	7%	1%



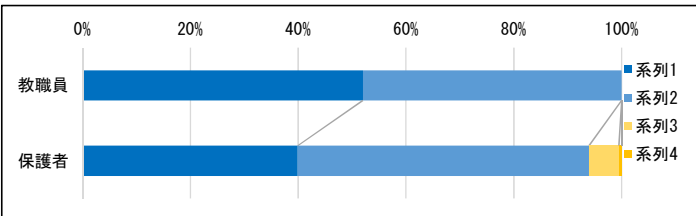
本年度、学校だよりでは、学校教育目標と行事の関連を明記する等、地域や保護者の方に学校の教育活動をご理解頂けるよう工夫した。しかし、家庭や地域の方々为学校の様子を直接見る機会が年4回の学習参観や、運動会、メロディーフェスティバル、東っ子まつり等の学校行事の時であり、数値を見れば十分ではなかった。学校における教育活動は、学校だより、学年だより、ホームページ等を活用し、発信しているが、今年度保護者の肯定的な評価が2%減少してしまった。今後は更に具体的な子どもの活動をより多く発信するよう努めていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
3	教職員	学校は、来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.65	3.91	3.9	65%	35%	0%	0%
	保護者	学校は、来校者した保護者に対し丁寧に対応している。	3.44	3.48	3.55	49%	46%	4%	1%



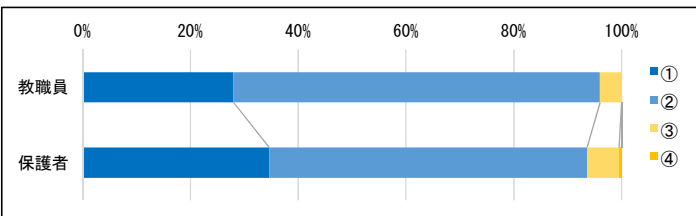
保護者の肯定的な評価は昨年度と比べると「1」の評価が減り、「2」の評価が増えてしまった。職員の肯定的な評価は100%ではあるが、十分にできていると評価している数値は下がってしまっている。このことを真摯に受け止め、教職員の挨拶や返答、服装等について見直すとともに、保護者や来校者に対して、教職員一同誠意を持ってより丁寧な対応を心掛けていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
4	教職員	学校は、熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.52	3.36	3.58	52%	48%	0%	0%
	保護者	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	3.33	3.34	3.37	40%	54%	6%	1%



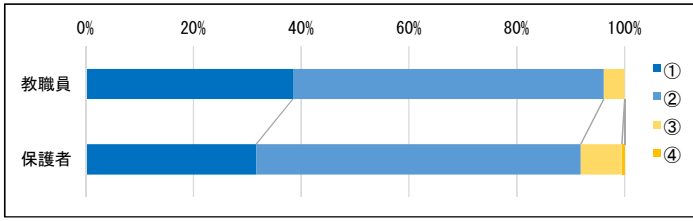
教職員の平均評価は昨年度よりも0.16ポイント上がっているが、保護者の評価は0.01ポイント下がっている。本校の研究主題は「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方」であり、本年度、全学年で授業を展開し、研究を深めてきた。また、若年層研修も外部講師を活用し充実を図ってきた。しかしながら、保護者の平均評価が0.01下がっていることから、更に子どもたちが「わかって楽しい」と感じる授業となるよう今後も校内研修の充実を進めていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
5	教職員	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.24	3.55	3.61	28%	68%	4%	0%
	保護者	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.28	3.43	3.43	35%	59%	6%	0%



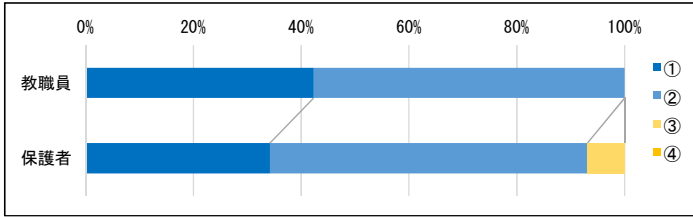
体験的な学習は、教科指導、校外学習や林間学校・修学旅行など全般を通じて取り入れている。生活科や総合的な学習の時間では、各学年、栽培活動や人との交流活動に取り組んでいる。教職員に関しては、肯定的な評価が多いものの「3」の評価が増え、今後の教育課程の見直しに向け、課題である。体験的な活動の良さを生かし、子ども達の「生きる力」の育成を目指して行きたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
6	教職員	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.35	3.55	3.52	38%	58%	4%	0%
	保護者	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.23	3.27	3.35	32%	60%	8%	1%



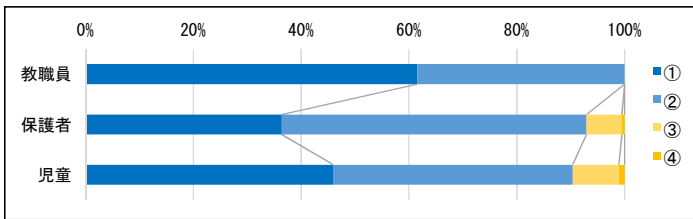
昨年に比べて肯定的評価が4%下がっている。児童も職員も熱心に清掃活動に取り組んでいる。しかしながら、年々児童数が減少していく中で、広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していくことは難しい状況もある。3、4年生のボランティア清掃、5、6年生の特別清掃隊、生活委員会による朝清掃など行っているが、行き届かない部分も残ってしまっている。今後は、清掃活動に加えて、学校を綺麗に大切に使う姿勢を育てていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
7	教職員	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.42	3.55	3.61	42%	58%	0%	0%
	保護者	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.27	3.28	3.37	34%	59%	7%	0%



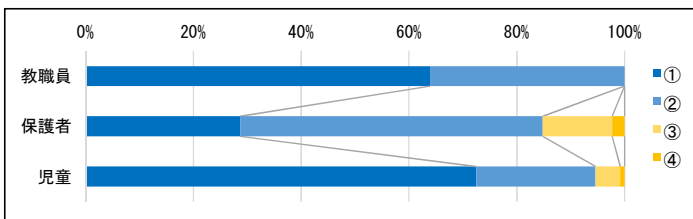
全国で災害が起こる中、平均評価で教職員が0.13下がってしまった。本年度、計画的に校内での防災訓練、引き渡し訓練、ミニ避難訓練等を行ってきた。また、登下校時の身の守り方についても適宜各学級で指導を行うなど、安全指導を行ってきたが、十分ではないと感じている保護者の方が7%いることを重く受け止め、今後も防災・安全指導についてはしっかりと取り組んでいきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
8	教職員	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.62	3.82	3.68	62%	38%	0%	0%
	保護者	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.29	3.4	3.41	36%	57%	7%	1%
	児童	挨拶・返事・くつの整理整頓を頑張っている。	3.35	-	-	46%	44%	9%	1%



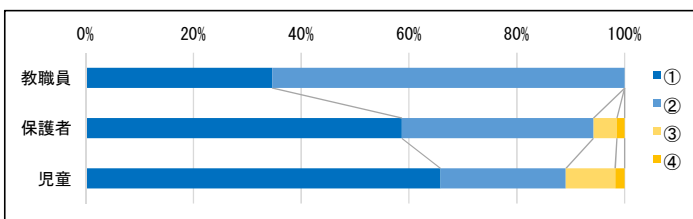
生活委員会を中心に全校で「挨拶運動」に取り組んできた。そのためか児童の肯定的評価は90%である。小中一貫の交流を生かし、中学生と挨拶する等気持ちの良い挨拶ができるように心がけてきたが、まだ受け身の児童もいる。返事や靴の整理について、各学級で取り組み、児童の意識を向上させていきたい。保護者の平均評価は、昨年度より0.11ポイント下がってしまった。肯定的な評価は93%であるが、今後も生徒指導に力を入れ、挨拶・返事・くつの整頓等ができる児童を育てていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
9	教職員	学校は、いじめなど個々に問題を抱える児童に対し必要な支援を行っている。	3.64	3.73	3.71	64%	36%	0%	0%
	保護者	学校は、いじめなど、個々に問題を抱える児童に対し支援を行っている。	3.11	3.24	3.25	29%	56%	13%	2%
	児童	いじめられたり、困ったときに先生と一緒に考えてくれる。	3.66	-	-	73%	22%	5%	1%



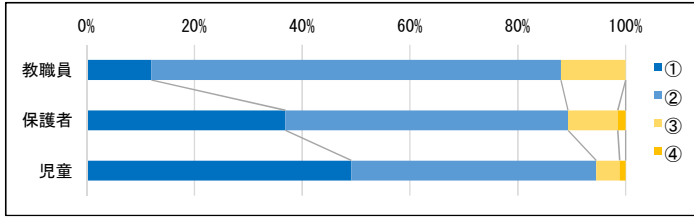
今年度、年2回のいじめアンケートや学校生活アンケート、個人面談などを実施した。さらに、3年生以上の児童についてはQ-U検査を実施した。支援を必要とする児童には、校内委員会を開き、様々な立場の職員の考えを生かして対応を考えてきた。その為、児童の肯定的評価は95%と高い。しかし、教職員も保護者も平均評価が下がってしまった。個々が抱えている問題の原因を考え、今後の指導の見直しにつなげていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
10	教職員	児童は、学校に楽しく登校している。	3.35	3.32	3.48	35%	65%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.51	3.59	3.58	59%	36%	4%	1%
	児童	お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.53	-	-	66%	23%	9%	2%



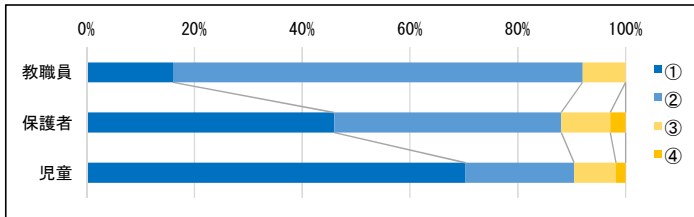
児童の肯定的評価は89%であった。特に①の数値が高く、児童が楽しく学校に登校できていることを嬉しく思う。昨年度の平均評価と比べると、教職員が0.03ポイント上昇しているが、保護者の評価は昨年度より0.07ポイント減少した。5%の保護者の方が否定的な評価をしていることを重く受け止め、「分かる授業」「居心地の良い学級づくり」等の充実を目指し、どの児童も楽しく登校できる学校づくりを今後も目指していきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
11	教職員	児童は、熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.00	3.09	3.45	12%	76%	12%	0%
	保護者	お子さんは、熱心に授業に取り組んでいる。	3.25	3.44	3.37	37%	52%	9%	1%
	児童	熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.43	-	-	49%	45%	4%	1%



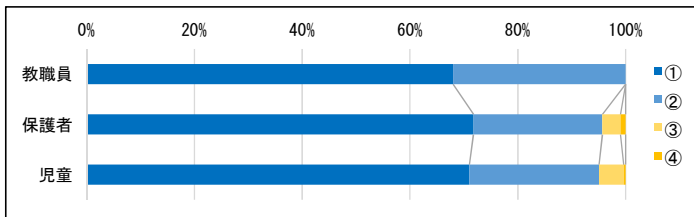
児童の学習への意識の高さが伺える。94%の肯定的評価であった。本校の研究主題が「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方～豊かな関わり合いの中で～」ということから、教職員は教材提示の仕方の方工夫、学び合いの場の工夫などを行い、わかりやすい授業を目指して研究を深めてきた。しかし、平均評価は、教職員・保護者共に下がった。主な要因を考え、今後も子ども達のやる気を引き出す授業づくり、分かりやすい授業づくりを心掛け、子ども達が主体的に学習に取り組めるよう努めていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
12	教職員	児童は、宿題や自主学習等の家庭学習を行っている。	3.08	3.00	3.39	16%	76%	8%	0%
	保護者	お子さんは、宿題や自主学習を家で行っている。	3.31	3.38	3.39	46%	42%	9%	3%
	児童	宿題や自主学習など家庭学習を行っている。	3.59	-	-	70%	20%	8%	2%



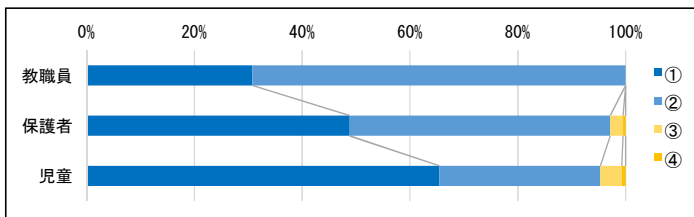
No.11と同様に児童の学習への高い意識が伺える。児童が家庭学習を行っていると感じていることを大切にしながら指導を工夫改善していきたい。宿題や自主学習への取り組みについて、保護者の平均評価は0.07減少しているが、教職員の平均評価は0.08上昇している。しかし、「3」の評価が8%であることから、家庭学習の習慣の定着にはまだ課題があると感じていることがわかる。保護者の平均評価が下がっていることも含めて家庭学習に関して、継続的に取り組む必要を感じる。家庭学習は、学校と家庭とが連携していかなくては十分な成果は得られないので、今後もどのような課題が出ているのかが家庭にも分かるようにして、協力を得ながら進めていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
13	教職員	児童は、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.68	3.86	3.74	68%	32%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.67	3.64	3.76	72%	24%	3%	1%
	児童	学校行事に楽しく参加している。	3.66	-	-	71%	24%	5%	0%



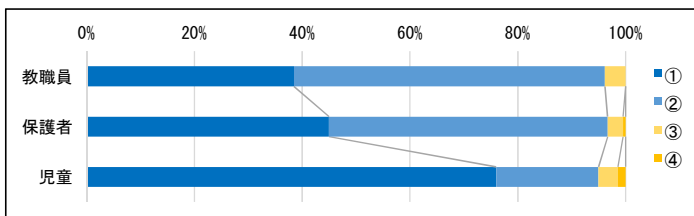
本校は、学校行事を通して一人一人に役割を与え、責任を持ってやり遂げさせることで成就感や感動を味わうことができるよう、企画・運営を心掛けている。児童も各行事に対して真剣に取り組む、友達と協力してやり遂げる達成感を味わい成長している。今年度の平均評価は、教職員が0.18ポイント下がってしまった。しかし、保護者の平均評価は0.03ポイント上がった。肝心の児童の否定的評価が一番高く、今後の取り組み方の課題としたい。これからも各行事のねらいを明確にし、児童達が生き生きと活躍できる学校行事を目指して行きたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
14	教職員	児童は、社会や学校のルールを守って生活している。	3.31	3.27	3.29	31%	69%	0%	0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.45	3.48	3.52	49%	48%	2%	0%
	児童	社会や学校のルールを守って生活している。	3.60	-	-	65%	30%	4%	1%



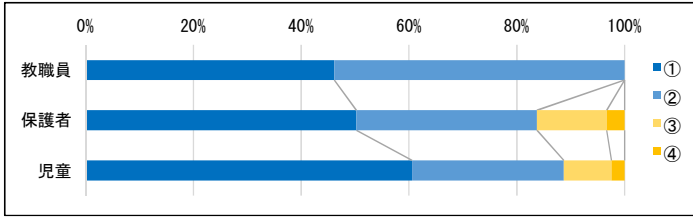
昨年度と比べて、教職員の平均評価は0.04ポイント上昇したが、保護者の平均評価は0.03下がってしまった。児童の評価は①が65%と高く、保護者の求める姿や教職員の認識している姿と児童の意識とは違いがあると考えられる。本校の児童は、基本的なルールや学校のきまりをしっかり守ろうとする児童がほとんどである。数値においても肯定的な評価が高い。しかしながら、時折自分の気持ちを優先してしまう部分もあり、ルールを守って生活することの必要性を指導している。特にプライベートな時間のスマートフォンやインターネット等によるSNSの使い方によるトラブルも近年は心配される。インターネットの危険性についても指導し、ルールを守らせていきたい。

No.	項目		R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合			
						①	②	③	④
15	教職員	児童は、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.35	3.41	3.45	38%	58%	4%	0%
	保護者	お子さんは、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.41	3.52	3.57	45%	52%	3%	0%
	児童	学校や学級で好ましい友人関係を築いている。	3.70	-	-	76%	19%	4%	1%



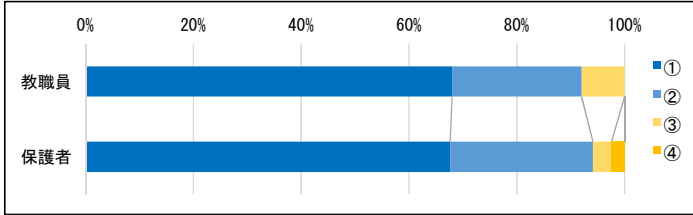
教職員も保護者も平均評価が下がり、友達関係やコミュニケーションの取り方について、それぞれが不安や課題を感じていることがわかる。しかし、児童は95%が肯定的評価である。周りには心配をしているが、児童は友人関係を保ちながら生活できているという認識と考えられる。本校の児童は、友達に対して思いやりを持ち優しく接する児童が多い。集団には様々な個性を持った人たちがいて、その中で、よりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいのかということを学ぶ場の一つが学校である。今後も、体験的な活動や異学年交流等の取り組みを大切にし、児童が好ましい人間関係を築けるよう支援を続けていきたい。

No.	項目	R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
16	教職員	児童は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.46	3.64	3.61	46%	54%	0%	0%
	保護者	お子さんは、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.31	3.46	3.48	50%	33%	13%	3%
	児童	外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.47	-	-	61%	28%	9%	2%



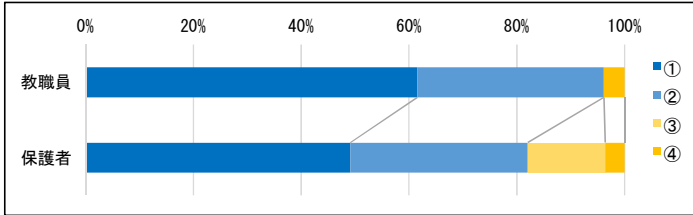
昨年度と比べて、教職員の平均評価が0.18、保護書の平均評価が0.15下がった。また、否定的な回答は、教職員は0%だが、保護者は13%と高かった。児童も9%とやや高い。東小学校は広い校庭に恵まれているため、児童は休み時間だけでなく朝も、放課後も元気に思い思いに遊んだり運動したりできる。また、業間休みを利用し、全校児童で体力作りにも取り組んでいる。しかし、天気の良い日も外に出ないで過ごす児童も見られる。児童の体力向上を目指し、今後も運動に親しむ児童が増えるように取り組んでいきたい。

No.	項目	R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
17	教職員	今年度、家庭訪問を全家庭実施から形態を変更したことに不都合はなかった。	3.60	—	—	68%	24%	8%	0%
	保護者	今年度、家庭訪問を全家庭実施から形態を変更したことに不都合はなかった。	3.59	-	-	68%	26%	3%	2%



教職員の「3」の評価が8%、保護者の「3」と「4」の評価が5%と不安を抱える職員や保護者が見られることが分かった。各家庭と日頃より連携を取り、教職員と保護者が安心できる体制づくりを進めていきたい。教育相談体制の充実を図る等、学校ができることを考え、積極的に不安や課題の解消に努めていきたい。

No.	項目	R01年度 平均評価	H30年度	H29年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
18	教職員	緊急時連絡を市役所とし、夜間休日の自動音声電話対応を導入したことで、働き方改革の推進につながった。	3.54	—	—	62%	35%	0%	4%
	保護者	緊急時連絡を市役所とし、夜間休日の自動音声電話対応を導入したことに問題はなかった。	3.28	-	-	49%	33%	14%	4%



教職員は肯定的評価が97%であるのに対して保護者の肯定的評価は82%であった。学校における働き方改革についての理解を深めるための取り組みを家庭や地域に更に行う必要がある。また、日頃より家庭や地域と連携を取り、学校教育目標を地域や保護者と共有する「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきたい。

学校評議員(学校関係者)の意見とまとめ

- ・全体として評価が下降傾向にあることは、寂しく思う。評価を全ての項目で上げることを意識するのではなく、本校の良い所を考え、それを軸にして様々な活動を積み上げていけば良いのではないかと。
- ・「湖北台東小学校と言ったら〇〇」というような特色ある学校づくりがあって良いのではないかと。
- ・学校評価の後、課題を解決するために職員が主体的に参加できる活動を取り入れていくことが大切と思う。
- ・今の子どもたちは、スマートフォンを持って産まれてきている。生活環境は昔と変わっても、人として大切なものは変わらない。その変わらないものを子どもたちに植え付けていく教育が必要だと思う。
- ・学校は大切な場所だと思う。母や父が仕事で祖母や祖父もいない中生活している子どもたちも少なくない。多くの人と関わりながら学ぶ機会が学校にはある。
- ・子どもたちは高学年になって、いろいろ自分のことを考えるようになる。子どもの可能性をわかるのは先生である。そのことを忘れないで欲しい。